

iPad (GIGA 端末) 端末活用実践事例

宇都宮大学共同教育学部附属中学校：指導者：浅野比呂嗣

教科・領域等	学年	単元名・題材名等
美術科	2 学年	「心に響くポスター」-自分の心に響いた詩を学友に伝えよう-

1. iPad 端末活用のポイント

(1) 本時の目標

(2) 活用アプリ

①	ロイロノート	②	PowerPoint
③	フリーボード	④	カメラ

(3) iPad 以外で利用した機器

①	プロジェクター	②	モニター
③		④	

(4) アプリの活用場面と目的

■	オンライン	■	オフライン
---	-------	---	-------

アプリ活用の目的

ロイロノート・・・情報収集、情報共有、作品の提出（オンライン）

PowerPoint・・・作品制作（オンライン）

フリーボード・・・写真のトリミング（オフライン）

カメラ・・・写真の撮影、写真の編集（オフライン）

アプリの活用場面（授業概要）

昨年度の国語科の授業にて詩についての学習を行った。その際に、自身が作った詩のイメージに合わせ、インターネットで画像を探し作品の背景として使用した。その作品は、国語科の学びとしては充分であったが、造形的な見方や考え方を加えることで、さらに表現力を上げることができる作品が多いように思えた。

そこで、2年生のデザインの授業では、自分の心に響いた詩などを相手に伝えるポスター制作を題材として取り上げようと考えた。それぞれに選んだ詩から主題を生み出し、その内容にあった表現に必要な造形的な要素を確認し、より相手に伝わるデザインを考えさせた。なお、背景の画像に関しては、これまでの学びを活かして自分のiPadで撮影させた。ロイロノートを活用し、指導の個別化や学習の個性化を行うことで個別最適な学びの実現を目指そうと考えた。

アプリの活用場面としては、詩の検索、詩の内容についての考察、ポスター制作において必要な知識の収集・共有、写真撮影、写真の編集、ポスター制作、作品の共有、ポスターを展示する場所の撮影、アンケート、振り返り等で活用した。

## 2. iPad 活用の画面例 (写真等)



より良いポスターを作るために必要な知識について、グループで話し合い、調べる内容を決めて、インターネットや書籍などから情報を集め、整理させた。これらの内容を、共有ノートを利用して、共有させたり、いつでも振り返ることが出来るように設定した。



カメラのアプリを利用し、主題にあった写真を撮影させた。休日などを利用して写真を撮ってくる生徒もいた。PowerPoint等を利用し、レイアウトや編集などを行った。フリーボードを利用して、図形や抽象的な形でトリミングをする生徒が多く見られた。

制作の過程で、中間発表を行うなど協働させながら、より伝わる表現を試行錯誤しながら制作を続けさせた。



校内の壁の写真を撮影させ、完成した作品を、合成して展示させた。背景の色や場所のイメージを考えて展示するなどの工夫が多く見られた。

ロイロノートのアンケート機能を活用して、学級内でそれぞれの作品に投票させた。得票数の多い作品を学年で共有し、学びを深めさせた。



### 3. 効果と課題

#### (1) iPad (アプリ) を活用して効果的だった点

一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input checked="" type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input checked="" type="checkbox"/>	調査活動	<input checked="" type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input checked="" type="checkbox"/>	表現・制作	<input checked="" type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input checked="" type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input checked="" type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

様々な場面で、大変効果的に活用ができた。特に、PowerPoint で制作することで、生徒は何度も試行錯誤することが容易であった。題材全体を通して、造形的な視点をもとに学びが深まったことが、生徒への振り返りから読み取れた。

#### (2) iPad (アプリ) を活用して課題に感じた点

一斉学習	<input type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input type="checkbox"/>	調査活動	<input type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input type="checkbox"/>	表現・制作	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

それぞれの生徒が、アプリケーションの活用方法についての知識にばらつきが見られた。生徒自身もだが、制作に必要なアプリケーションの知識を教師が常に自己研鑽していく必要がある。